

USER MANUAL

Digital Video Recorder

DVR STRX-400/800/1600

A blue decorative triangle pointing upwards, located in the bottom right corner of the page.

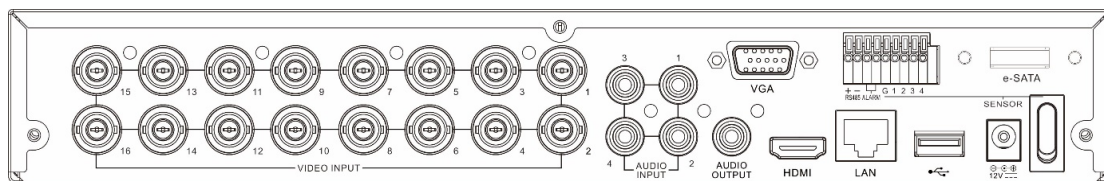
安全上のご注意

人身傷害を防ぎ、機器等の接続機器が破損しないように、以下の項目をよくお読みください。

1. 本製品に付属の「電源アダプタ」と「電源コード」は本製品専用のものです。
必ず本製品のみにお使い下さい。他の機器への転用は保証できません。
2. DVR の開口部を通して、いかなる物も入れないで下さい。
感電やその他の事故を避けるために、DVR の開口部から異物を入れないでください。
3. DVR をほこりだらけの場に入れしないでください。
DVR をほこりだらけの場に入れしないでください。
4. 雨や湿気の多い環境下に機器を設置しないでください。
地下室のような湿気の多い環境下に機器を配置しないでください。機器が誤って水と接触した場合は、電源ケーブルを抜いてすぐに販売店にお問い合わせください。
5. DVR の表面を清潔で乾燥させておく
DVR の筐体をきれいにするためには柔らかい湿った布を使用してください(液体エアロゾルクリーナーを使用しないでください)
6. 問題が見つかった場合は操作しない
DVR から奇妙な臭いや音が聞こえる場合は、電源ケーブルを抜いて、販売店に連絡してください。
7. 上部カバーを取り外さない
警告： 感電を避けるために DVR のカバーを取り外さないようにしてください。
8. 注意して取り扱う
DVR をぶつけた為に破損し、正常に動作しない場合は、販売店に連絡してください。
9. 標準リチウム電池を使用する(注:メーカーが取り付けた、または指定された電池を使用してください)
電源を切った後、内部時計が動作しない場合は、内部の標準リチウム電池を交換してください。
警告： バッテリーを交換する前に電源を切ってください、感電する可能性があります。
使用済みの電池を適切に処分してください。
10. DVR を換気の良い場所に置く
DVR システムは HDD を搭載しているため発熱しやすくなっております。よって、運転中にシステムを冷却するための換気口(上、底、両側および裏側)を塞がないでください。冷却装置を設置するか、換気の良い場所に設置して下さい。
11. 接続された電源アダプタは、DVR のみに使用してください。
12. 機器を濡らさないで下さい、感電や故障の元になります

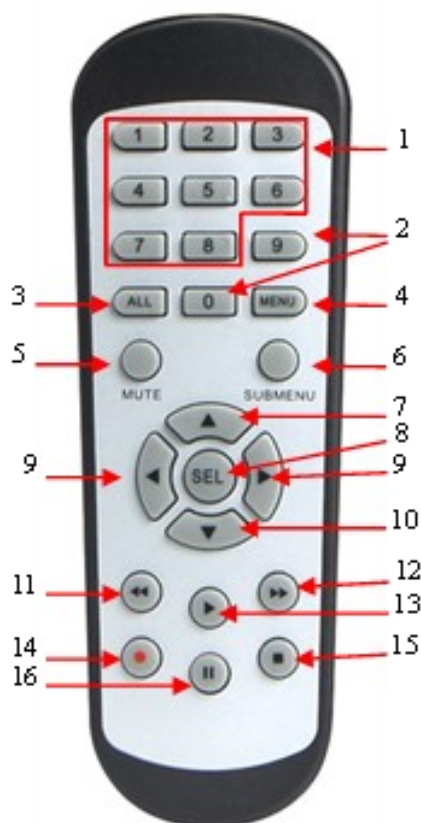
第1章 製品概要

1.1 リアパネル



項目	説明
ビデオ入力	ビデオ入力デバイス、標準 BNC ポートで接続
オーディオ入力	オーディオ入力信号、RCA ポートで接続
オーディオ出力	オーディオ信号出力、RCA ポート
USB ポート	付属のマウスまたは USB フラッシュメモリを接続します。
VGA	VGA 入力を使用してテレビまたはモニターに接続します。
HDMI	HDMI 入力でデジタルテレビやモニターに接続
LAN	ネットワークに接続する
e-SATA	e-SATA HDD に接続して、記録とバックアップを行います。
RS-485	PTZ カメラに接続する
センサーとアラーム	外部センサーおよびアラームデバイスに接続
電源	付属の電源アダプタに接続する
電源スイッチ	電源/オフ電源をオンにする

1.2 リモートコントローラ（オプション）



No.	アイコン	説明
1	1-8	No. ボタン チャンネル 1~8 を表示する場合
2	9、0	数値キー
3	ALL	すべてのチャンネルを表示するために押します マルチディスプレイモード
4	メニュー	を押してメインメニューを開くか終了するか
5	ミュート	ミュートオン/オフ
6	サブメニュー	サブメニューへ移動
7	▲	上矢印キー;ボリュームの増加
8	SEL	選択したメニュー項目を入力し、設定を編集します
9	◀▶	左/右キー;コントロールバーのパラメータ値を減らす/増やす。
10	▼	下矢印キー;ボリュームの減少
11	◀◀	ビデオ再生中に巻き戻す場合に押す
12	▶▶	ビデオ再生中に早送りする場合に押す
13	▶	録音したビデオを再生するか、録画検索メニューを入力します
14	●	押して手動録音を開始
15	■	手動録画を停止するか、ビデオ再生を停止します
16		押してビデオの再生を一時停止するか、フレーム再生モードに入ります

第2章 DVR のインストールと接続

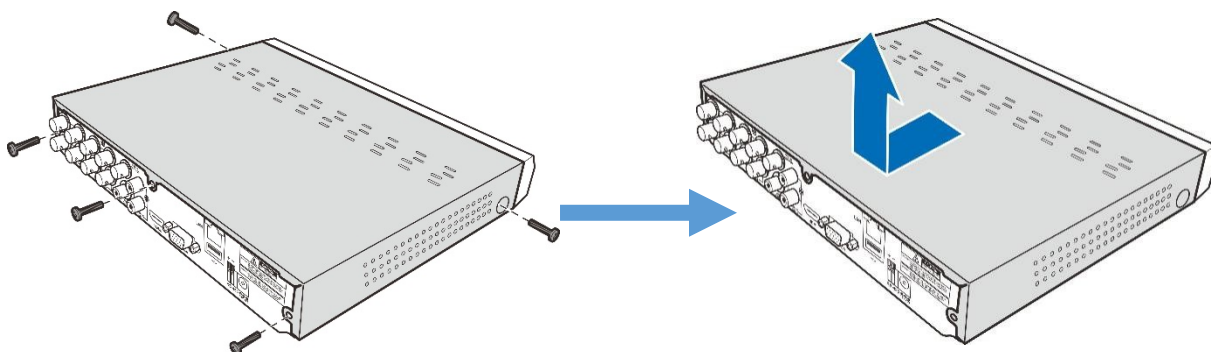
2.1 HDD インストール

購入したパッケージによっては、HDD がパッケージに含まれる場合があります。インストールが済んでいない場合は、このユーザーマニュアルのインストール手順に従ってください。

注意 : DVRの電源がオンになっている間は、HDDの脱着はしないでください。

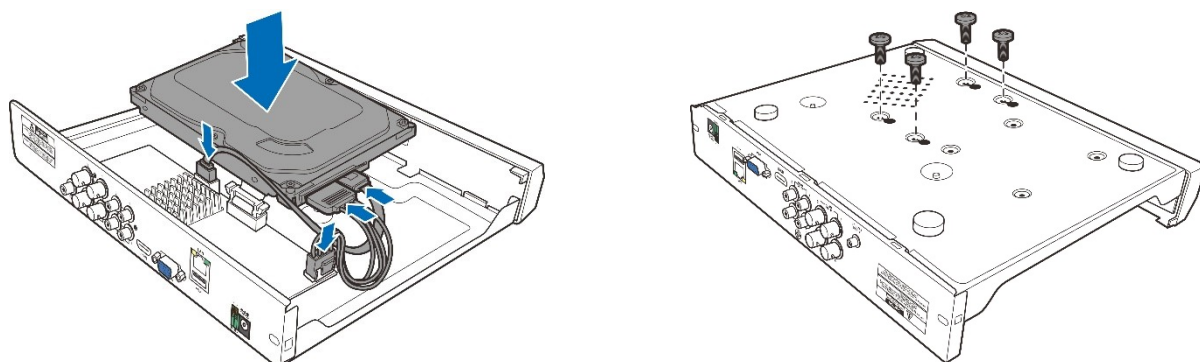
HDDインストール:

(1) 最初に電源を切り、両面と背面パネルのネジを外し、DVRアッパーカバーを開きます。

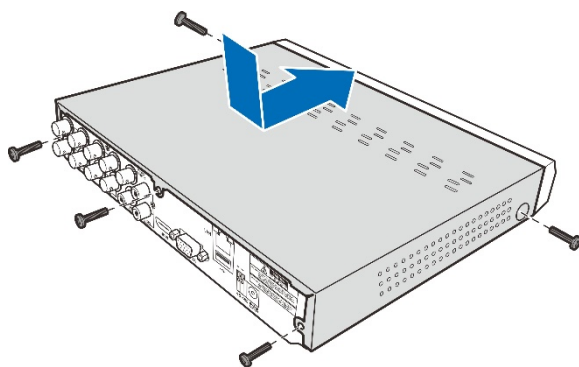


(2) データケーブルと電源ケーブルをHDDに接続し、HDDをDVRケースに置きます。

(3) DVRケースを慎重に反転させ、ネジでHDDをDVRに固定します。

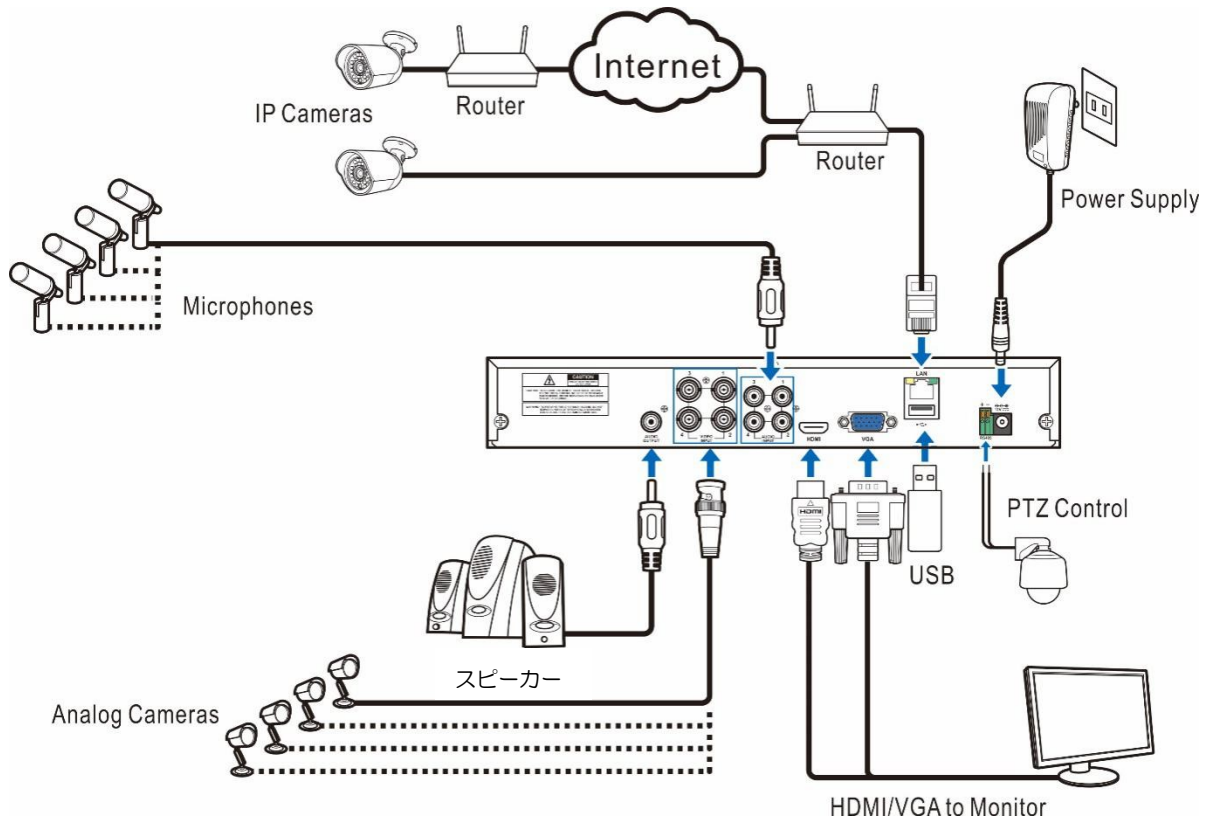


(3) 上部カバーを慎重に戻し、カバーをねじで固定します。



注 : 上記の手順は参考用です。実際の取付けは、購入したDVRによって異なる場合があります。

2.2 接続図

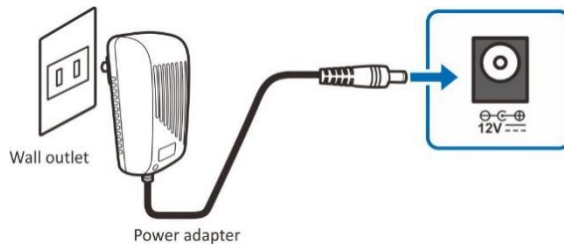


注：上図は参考用です。実際の接続は、購入した DVR によって異なる場合があります。

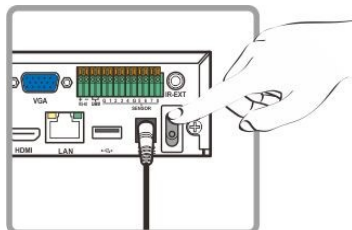
2.3 電源接続

注意：DVR に付属の電源アダプタのみを使用してください。

電源アダプタの一端を DVR 背面の電源コネクタに接続します。電源アダプタのもう一方の端をコンセントに差し込みます。

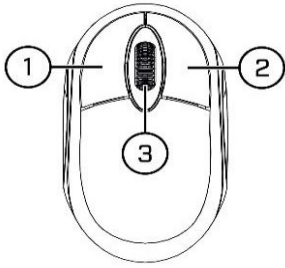


特定のモデルによっては、電源スイッチを押して電源をオンにする必要がある場合があります。



第3章 DVR 共通操作

3.1 付属のマウスを使用する



1. 左ボタン:

- クリックしてメニュー オプションを選択します。
- 分割画面表示でライブ表示中に、チャンネルをダブルクリックすると全画面表示で表示されます。チャンネルをもう一度ダブルクリックすると、画面の表示が分割されます。
- ライブ表示画面でチャンネルをクリックするとカメラクイックツールバーが開きます。
- クリックして長押しして、メニューモードでスライダーとスケールをドラッグします。

2. 右ボタン:

- 1 回クリックして、ライブ表示画面でタスクバーを開きます。4.2.2 タスクバーにタスクバーを表示する
- メニューで、クリックしてメニューを戻す/閉じます。

3. スクロールホイール:

- メニューでスクロールして、メニューの内容を上下に移動します。
- ボリュームコントロールホイールの上にマウスを移動しながら、スクロールしてシステムボリュームを上/下にします。

仮想キーボードの使用

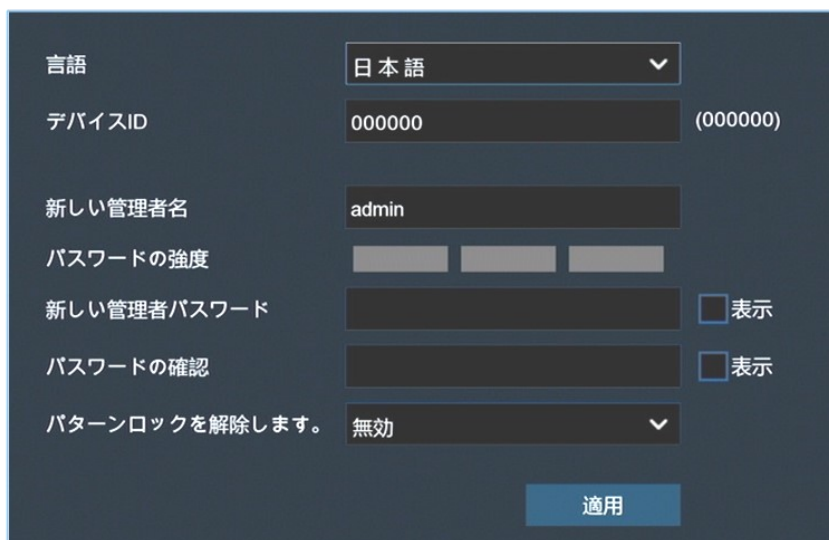
データを入力する必要がある場合は、画面に仮想キーボードが自動的に表示されます

クリックすると、キーボードを大文字と句読点に切り替えます



3.3 パスワード

DVR を 初めて実行する際、プライバシーを保護するために、すぐにパスワードを設定する必要があります。ユーザー名とパスワードを記録し、安全な場所に保存してください。



言語	日本語	▼
デバイスID	000000	(000000)
新しい管理者名	admin	
パスワードの強度		
新しい管理者パスワード		☐ 表示
パスワードの確認		☐ 表示
パターンロックを解除します。	無効	▼

適用

言語: OSD 言語を選択する

デバイス ID: デバイス ID をかっこに入力します。デフォルト ID は 000000 です。デバイス ID の詳細については、5.6.1 General を参照してください。

新しい管理者名: 独自の管理者名を設定します。

新しい管理者パスワード: 自分のパスワードを設定します。パスワードは 8 文字の組み合わせでなければなりません。

新しいパスワードの確認: 新たに設定したパスワードをもう一度。

[適用] をクリックして設定を確認し、ログイン インターフェイスに移動します。DVR システムにログインするには、ユーザー名とパスワードを入力します。



言語	日本語	▼
デバイスID	000000	(000000)
ユーザー名	admin	▼
パスワード		☐ 表示

ログイン

出荷時設定

ユーザー名: admin パスワード: selco01\$

第 4 章 DVR 起動

4.1 ウィザードの起動

スタートアップウィザードは、システムを構成し、DVR を迅速に動作させるために役立ちます。

4.1.1 起動ウィザード

[スタート ウィザード] をクリックして次の手順に進みます。



4.1.2 ネットワーク設定

スタートアップウィザード

ネットワーク

ローカル接続

DHCP ☐

IPアドレス 192.168.001.100

サブネットマスク 255.255.255.000

ゲートウェイ 192.168.001.001

IPv6 アドレス fe80::12fc:54ff:fea2:2b75 / 064

IPv6 ゲートウェイ fe80::64

DNS

DNS1 192.168.001.001

DNS2 008.008.008.008

ポート

	サービス	プロトコル	内部ポート	外部ポート	UPNP状態	Mapping Strategy	U
1	ウェブ	TCP	8080	8080	無効	ポート	☐

次に キャンセル

ルーターに接続して DHCP を使用できる場合は、DHCP ボックスをチェックしてください。ルーターは、DVR のすべてのネットワーク パラメータを自動的に割り当てます。ネットワークが手動でパラメータの下にアドレス指定されていない限り：

IP アドレス： IP アドレスはネットワーク内の DVR を識別します。0 から 255 までの 4 つのグループから成り、ピリオドで区切られます。たとえば、「192.168.001.100」とします。

サブネット マスク: サブネットマスクは、ネットワークで利用できる IP アドレスの範囲を定義するネットワーク パラメータです。IP アドレスが住んでいる通りのようなものであれば、サブネットマスクは近隣のようです。サブネットアドレスは、ピリオドで区切られた 4 つのグループの番号で構成されます。たとえば、"255.255.000.000"。

ゲートウェイ: このアドレスは、DVR がインターネットにアクセスできるようにします。ゲートウェイアドレスの形式は IP アドレスと同じです。たとえば、「192.168.001.001」とします。

DNS1/DNS2: DNS1 はプライマリ DNS サーバーであり、DNS2 はバックアップ DNS サーバーです。通常は、DNS1 サーバーアドレスを入力するだけで十分です。

ポート

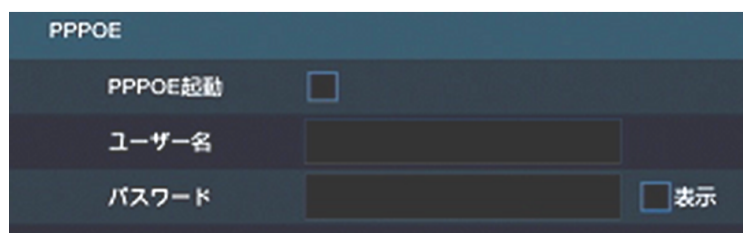
Web ポート: これは、DVR にリモートでログインする（Web クライアントを使用するなど）に使用するポートです。デフォルトのポート 80 が既に他のアプリケーションによって取得されている場合は、それを変更してください。

クライアントポート: これは、DVR が（モバイル アプリを使用するなど）を介して情報を送信するために使用するポートです。デフォルトのポート 9000 が既に他のアプリケーションによって取得されている場合は、それを変更してください。

RTSP ポート: これは DVR が他のデバイスにリアルタイムストリーミングを送信することを許可されるポートです（たとえば、ストリーミングメディアプレーヤーを使用）。

UPnP: Web クライアントを使用して DVR にリモートでログインする場合は、ルーターでポート転送を完了する必要があります。ルーターが UPnP をサポートしている場合は、このオプションを有効にします。この場合、ルーターを手動でポート転送を設定する必要はありません。ルーターが UPnP をサポートしていない場合は、ルーターでポート転送が手動で完了していることを確認します。

PPPoE



PPPOE	
PPPOE起動	☐
ユーザー名	
パスワード	☐ 表示

これは、DVR が DSL モデムを介してネットワークに直接接続することを可能にする高度なプロトコルです。

[PPPoE を有効にする] チェック ボックスをオンにし、PPPoE のユーザー名とパスワードを入力します。

3G

これはモバイルネットワークを使用する前に、DVR に 3G ドングルを接続する必要があります。

3G オプションを有効にし、3G ドングルデバイスの指示に従って APN、ダイヤルコード、ユーザー名&パスワードを入力します。

4.1.3 日付/時刻

このメニューでは、日付、時刻、日付形式、時刻形式、タイムゾーン、NTP、および DST を設定できます。

日付と時刻

カレンダーアイコンをクリックして、現在のシステム日付を設定します。

日付/時間		
日付と時間	NTP	サマータイム
日付	07/01/2024	
時間	14:10:48	
日付表示形式	MM/DD/YYYY	▼
時刻表示形式	24時	▼
タイムゾーン	GMT+08:00	▼

日付: カレンダーアイコンをクリックして、システム日付を設定します。

時間: クリックしてシステム時刻を設定します。

日付形式: ドロップダウンメニューから選択して、優先する日付形式を設定します。

時刻形式: 24 時間と 12 時間の間の時間形式を選択します。

タイム ゾーン: 正しいタイムゾーンを設定します。

NTP

NTP はネットワークタイムプロトコルの略です。この機能を使用すると、インターネット経由で DVR の日付と時刻を同期することができます。したがって、DVR はインターネットに接続する必要があります。

日付/時間		
日付と時間	NTP	サマータイム
NTP有効	☒	
サーバアドレス	pool.ntp.org	▼
今すぐ更新する		

サマータイム

DST は夏時間の略です。

DST: お住まいの地域で夏時間（DST）が観察される場合に有効にする

時間オフセット: DST のオフセット時間を選択します。

時刻モード: 夏時間を週または日で設定します。

開始時刻/終了時刻: 夏時間の開始時刻と終了時刻を設定します。

4.1.4 IP カメラ

このメニューでは、IP カメラを DVR に追加できます。

[検索] をクリックして、同じネットワーク内の IP カメラを検索します。追加する IP カメラを選択し、➡ アイコンをクリックして DVR に追加します。

IPアドレス/ドメイン	192.168.1.101
カメラ名	IP CH1
ポート	80
プロトコル	Onvif
ユーザー名	admin
パスワード	 ☐ 表示
チャンネルのバインド	IP CH1

検索 初期パスワード 追加

初期パスワード：12345

カメラのユーザー名とパスワードを入力して、カメラを追加します。

また、**+** ボタンをクリックして、個々の IP カメラを 1 つのチャンネルに追加することもできます。

No.	IPアドレス/ドメイン	ポート	製造者	デバイスタイプ	MAC
1	192.168.1.101	80	%E3%82%AB%E3%83%A1%E3%83%A902		00-0F-3

IPアドレス/ドメイン	192.168.1.101
カメラ名	IP CH1
ポート	80
プロトコル	Onvif
ユーザー名	admin
パスワード	 ☐ 表示
チャンネルのバインド	IP CH1

検索 初期パスワード 追加 キャンセル

[検索] ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイス一覧の IP カメラの 1 つをクリックします。

IP アドレス/ドメイン: IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名

カメラ名: IP カメラの名前

位置: カメラ名を画面に表示する位置。

ポート: IP カメラのポート

プロトコル: ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します。

ユーザー名: IP カメラのユーザー名

パスワード: IP カメラのパスワード

チャンネルのバインド: アタッチする DVR のチャンネルを選択します。

4.1.5 ディスク



HDD が DVR に初めてインストールされる場合は、フォーマットする必要があります。HDD を選択し、[HDD のフォーマット] ボタンをクリックして HDD をフォーマットします。

上書き: HDD がいっぱいになったときに、HDD の古い録画を上書きするには、このオプションを使用します。たとえば、オプション 7 日間を選択した場合、HDD 上の残りの 7 日間の録画のみが保持されます。古い録画が上書きされないようにするには、[無効にする] を選択します。この機能を無効にしている場合は、HDD の状態を定期的に確認して、HDD が満杯でないことを確認してください。

eSATA で録画: DVR に背面パネルに e-SATA ポートが付属している場合は、ビデオを e-SATA HDD に記録することができます。

4.1.6 解像度

モニターに一致する出力解像度を選択します。DVR は、システムの起動時にモニターの最適な解像度に合わせて出力解像度を自動的に調整することをサポートしています。

解像度

出力解像度

4K(3840x2160) ▼

適用

4.1.7 モバイル

DVR に P2P ID が付属している場合は、モバイルアプリで QR コードをスキャンして DVR をリモートで表示できます。

スタートアップウィザード

モバイル

P2P ID

P2P ID

4KKV66YDDW9JAS87111A

ローカル接続

IPアドレス

192.168.1.100

サブネットマスク

255.255.255.0

ポート

ウェブ

80

クライアント

9000



4.1.8 概要

開始ウィザードで設定したシステムの概要情報を確認し、ウィザードを終了できます。次回システムを再起動するときにウィザードの起動を表示しない場合は、[次回はこのウィンドウを表示しない] チェック ボックスをオンにします。[完了] ボタンをクリックして保存して終了します。

スタートアップウィザード

概要

システムログ

解像度

4K(3840x2160)

日付/時間

07/01/2024 14:19:21, GMT+08:00

NTP

オフ

ネットワーク

DHCP

オフ

IPアドレス

192.168.1.100

サブネットマスク

255.255.255.0

ゲートウェイ

192.168.1.1

DNS1

192.168.1.1

DNS2

8.8.8.8

PPPOE

オフ

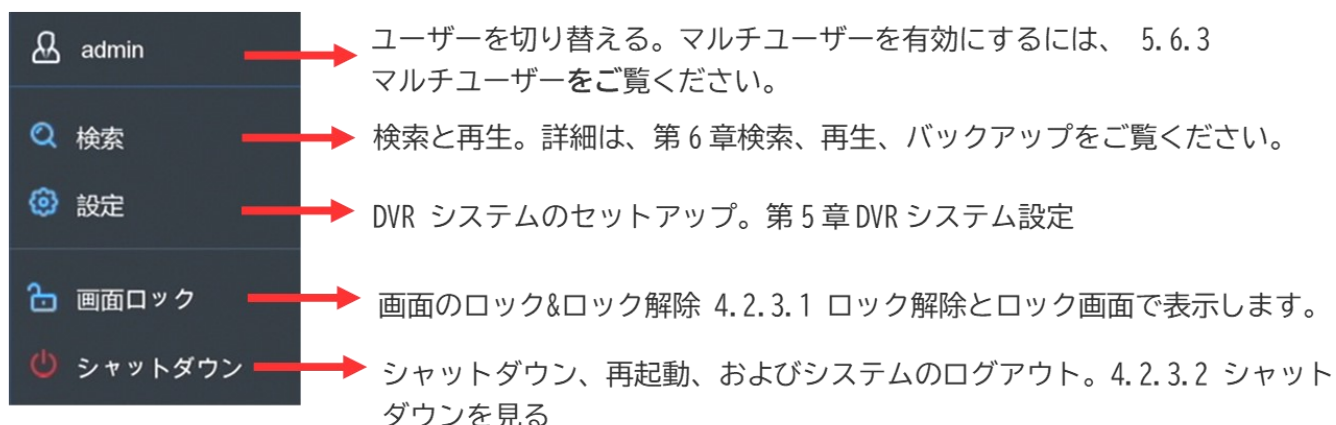
☐ 次回このウィンドウを表示しないでください。

前に

完了

4.2.3 スタートメニュー

スタートメニューを使用すると、ユーザーを切り替えたり、検索&再生したり、システム設定メニューに入り、画面をロック/ロック解除したり、シャットダウン、再起動、ログアウトしたりできます。



4.2.3.1 画面のロック解除とロック



DVR の配信の詳細1の選択1の下の [], オースドディッドオースディストオースオーディストオースイストオーストロールス

必要に応じて、画面操作を手動でロックすることもできます。これを行うには、スターメニューに移動し、画面のロックアイコン をクリックして、すぐにシステムをロックします。

システムがロックされている場合は、ロック解除アイコン をクリックしてシステムのロックを解除し、さらに操作を行うことができます。

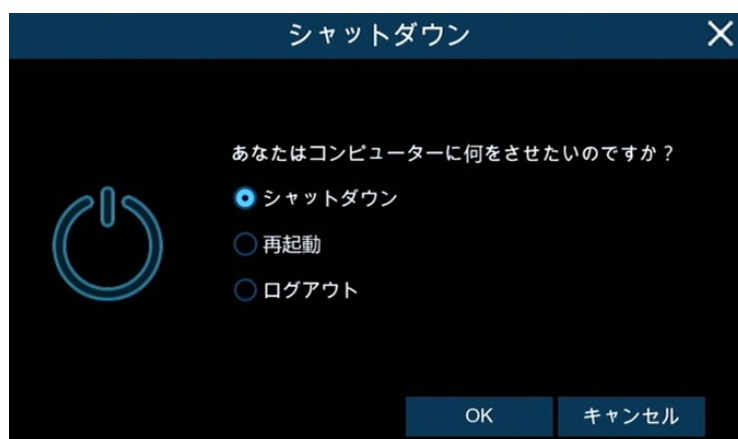
出荷時設定

ユーザー名: admin パスワード: **selco01\$**

4.2.3.2 シャットダウン



スターメニューから[シャットダウン]ボタンをクリックし、移動したい追加のアクションを確認します。[OK]ボタンをクリックすると、システムは認証のために管理者パスワードを入力する必要があります。



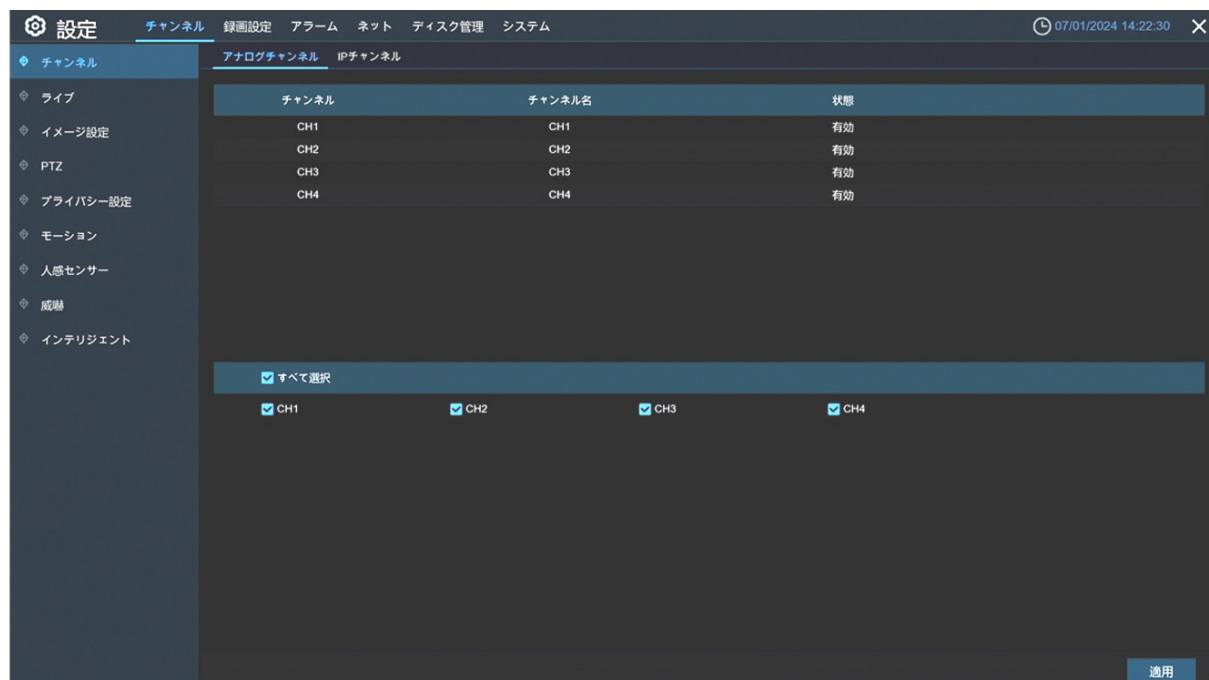
第5章 DVR システムのセットアップ

[スタート] メニューの設定から、チャンネル、レコード、アラーム、ネットワーク、デバイス、システムの DVR を設定できます



5.1 チャンネル

このセクションでは、カメラの設定、ライブビュー表示、IP カメラの管理、IP カメラの画像の調整、PTZ 設定、モーション設定、変換モードなどを行うことができます。

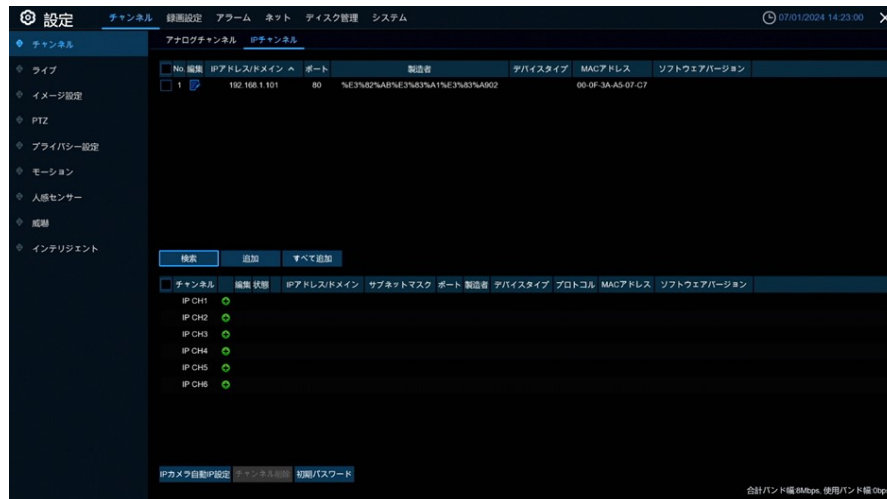


5.1.1.1 アナログチャンネル

DVR は、アナログチャンネルを無効にして IP チャンネルを増やすことをサポートしています。アナログチャンネルを無効にする場合は、チェックボックスをオフにして[Apply]をクリックして保存します。アナログチャンネルを無効にするには、IP チャンネル入力を増やすことができます。これを行うには、システム→一般→モードで [XVR モード]を有効にする必要があります

5.1.1.2 IP チャンネル

DVR の XVR モードを有効にすると、IP カメラの追加や IP チャンネルの変更がサポートされます



[ローカルネットワークから IP カメラを検索する] をクリックし、[追加] をクリックして個々の IP カメラを追加し、[すべて追加]をクリックしてすべての IP カメラを追加します。

IPアドレス/ドメイン	192.168.1.101
カメラ名	IP CH1
ポート	80
プロトコル	Onvif
ユーザー名	admin
パスワード	admin
チャンネルのバインド	IP CH1

☒ 表示

検索 初期パスワード 追加 キャンセル

[検索] ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイス一覧の IP カメラの1つをクリックします。

IP アドレス/ドメイン: IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名

カメラ名: IP カメラの名前

位置: カメラ名を画面に表示する位置。

ポート: IP カメラのポート

プロトコル: ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します。

ユーザー名: IP カメラのユーザー名

パスワード: IP カメラのパスワード

チャンネルのバインド: 運用する DVR のチャンネルを選択します。

カメラへの IP の自動割り当て: 追加された IP カメラは、その IP アドレスが DVR と同じネットワークセグメントに存在しない場合は接続できません。この機能を使用して、追加されたすべての IP カメラに IP アドレスを再割り当てします。

チャンネル削除: 1 つまたは複数の IP カメラを削除するには、このボタンをクリックします。

5.2 記録

このメニューでは、記録パラメータを設定できます。

5.2.1 エンコード

このメニューでは、録画ビデオまたはネットワーク伝送の画質を設定できます。一般、メインストリームは HDD に保存される録画ビデオの量を設定します。サブストリームは、リモートアクセスを介して表示されているビデオ品質を定義します。Mobilestream は、モバイル デバイス経由でリモート アクセスを介して表示されるビデオ品質を設定します。



解像度: このパラメータは、記録された画像の大きさを設定します。

FPS: このパラメータは、DVR が記録する 1 秒あたりのフレーム数を設定します。

Video エンコードタイプ: IP カメラのみ。DVR は H.264 IP カメラのみをサポートします。

H.265 を選択すると、IP チャンネルのライブビュー画面に「デコード失敗」が表示されます。

ビットレート制御: ビットレートレベルを選択します。壁のような単純なシーンの場合は、一定のビットレート (CBR) が適しています。交通量の多い通りなど、より複雑なシーンには、可変ビットレート (VBR) が適しています。

ビットレートモード: ビットレートを自分で設定したい場合は、ユーザー設定モードを選択します。定義済みのビットレートを選択する場合は、事前設定モードを選択します。

ビットレート: このパラメータは、DVR がビデオを録画するために使用するデータ転送の速度に対応します。より高いビットレートでエンコードされた録画は、より良い品質になります。

Audio: ビデオと一緒にオーディオを録音し、マイクを DVR に接続するか、オーディオ機能を備えたカメラを使用する場合は、このオプションを選択します。

MR: AMR オプションをオンにすると、このチャンネルにアラーム (モーションまたは I/O アラーム) が発生すると、このチャンネルは最大フレームレート & ビットレートで記録されます。

5.2.2 レコード

このメニューでは、チャンネル記録パラメータを設定できます。

5.2.2.1 レコード



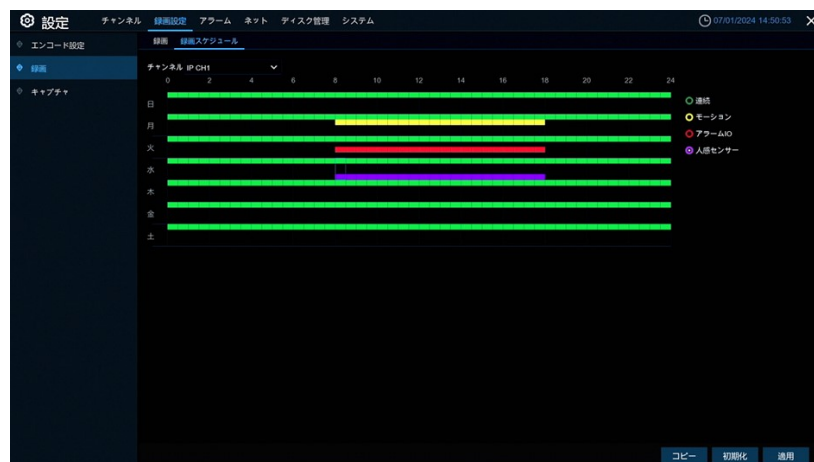
録音スイッチ: 各チャンネルで録音を有効にする場合にチェックを入れます。

ストリームモード: 録音品質を選択します。[デュアルストリーム]を選択すると、システムはメインストリームとサブストリームの両方で記録されます。

プレ録画: このオプションが有効な場合、アラームイベントが発生する数秒前に DVR が記録を開始します。プライマリ録画タイプがモーションまたは I/O アラームベースの場合は、このオプションを使用します。

5.2.2.2 レコードのスケジュール

このメニューでは、DVR がビデオを録画するタイミングを指定し、各チャンネルの録画モードを設定できます。録画スケジュールを使用すると、通常の(連続)録画、モーションレコーディング、I/O アラーム記録、PIR 録画(DVR がサポートしている場合)によって、毎日と毎時などのスケジュールを設定できます。録音モードを設定するには、まずモードラジオボタン(ノーマル、モーション、I/O、PIR)をクリックしてから、カーソルをドラッグしてスロットをマークします。録画スケジュールは、1つのチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルでも同じ録画スケジュールを使用する場合は、コピー機能を使用します。[適用] をクリックして設定を保存します。



チャンネル: チャンネルを選択して、記録パラメータを設定します。

標準: タイムスロットが緑色に設定されている場合、チャンネルはそのタイムスロットの通常の記録を実行することを示します。

Motion: タイムスロットが黄色に設定されている場合、チャンネルレコードは、その時間帯にモーションが検出された場合にのみ記録されます。

I/O: タイムスロットが赤色に設定されている場合、これは、その時間帯にセンサーが検出されたときにのみ登録チャンネルが記録されます。

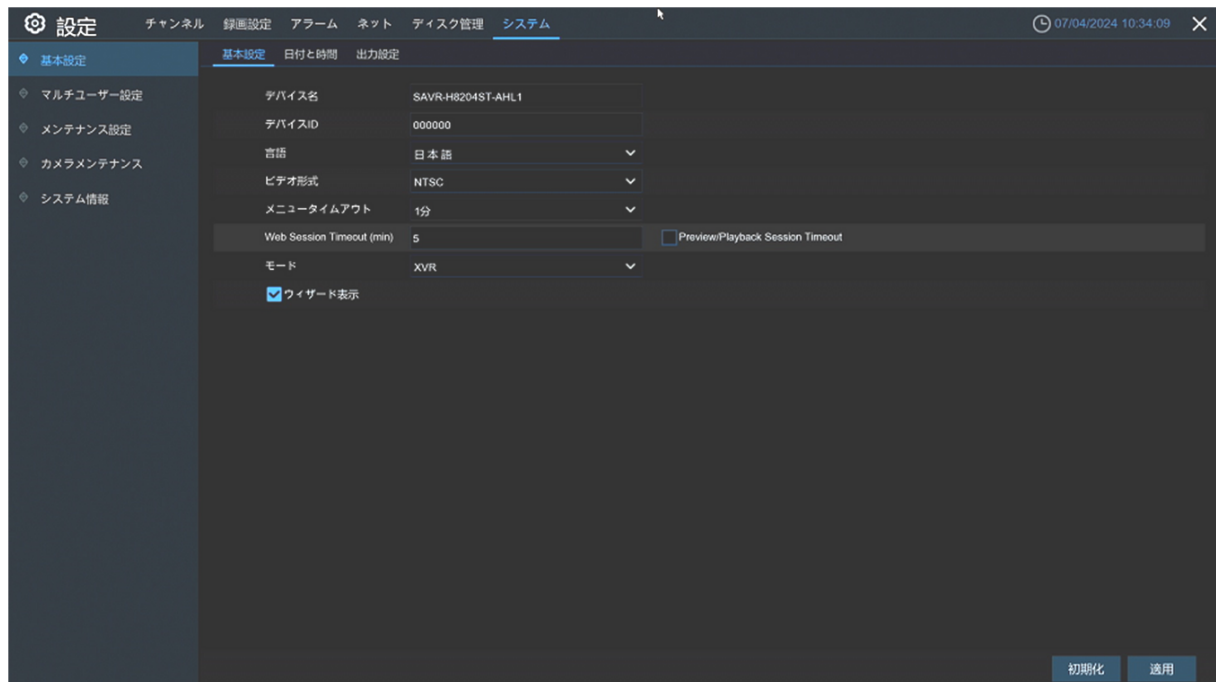
PIR: タイムスロットが紫色に設定されている場合、PIR がその時間帯に検出されたときにのみ登録チャンネルが記録されます。

[記録なし]: 黒のマークが付いているタイムスロットは、タイムスロットに対して録画がないことを意味します。

5.6 システム

日付、時刻、地域などの一般的なシステム情報の変更、パスワードと権限の編集など。

5.6.1 一般



デバイス名: DVR の名前を入力します。名前には、文字と数字の両方を含めることができます。
デバイス ID: DVR の ID を入力します。デバイス ID は DVR を識別するために使用され、数字のみで構成できます。たとえば、2 台 DVR が同じ場所に設置され、デバイス ID が DVR の 1 つに対して 000000、別の DVR の場合は 111111 がインストールされます。リモートコントローラで DVR を操作する場合、両方の DVR がコントローラからの信号を受信し、同時に動作することがあります。ID111111 の DVR のみを制御する場合は、ログインページにデバイス ID11111 を入力して、リモートコントローラを使用して、さらに操作を行うことができます。

言語: システムメニューを表示する言語を選択します。複数の言語が利用可能です。

ビデオ形式: お使いの地域に適したビデオ規格を選択します。

メニュータイムアウト: ドロップダウンメニューをクリックして、DVR がアイドル状態のときにメインメニューを終了する時間を選択します。また、“OFF” を選択して無効にすることもできます（パスワード保護は一時的に無効になります）。

モード: XVR または DVR。XVR モデルでは DVR に IP カメラを追加できます。モードを XVR から DVR に変更すると、追加されたすべての IP カメラが削除されます。

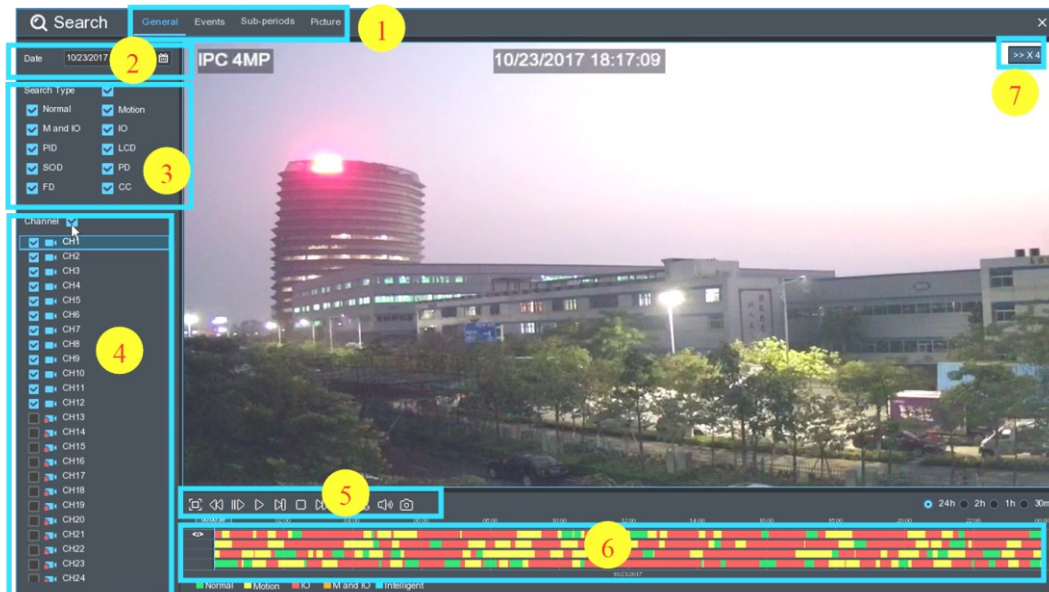
ウィザードの表示: DVR をオンまたはリブートするたびにスタートアップウィザードを表示する場合は、このチェックボックスをオンにします。

第6章 検索、再生、バックアップ

検索機能を使用すると、以前に録画したビデオや、DVR の HDD に保存されているスナップショットを検索して再生することができます。録画スケジュール、手動録画、モーションイベントのみに合ったビデオの再生を選択できます。バックアップ機能を使用すると、重要なイベント(ビデオとスナップショットの両方)を USB フラッシュドライブに保存できます。

6.1 検索機能の使用

 [スタート]メニューの[検索]ボタンをクリックして、検索セクションに入ります。



1. 検索オプション: システムは、さまざまな検索&再生方法を提供しています:一般、イベント、サブピリオド、スマート&ピクチャ
2. 検索日: 再生する日付で検索します。
3. 検索の種類: システムは、検索を絞り込むために異なる検索の種類を提供します。
4. チャンネルの選択: 検索&再生したいチャンネルを選択します。
5. ビデオ再生コントロール: ビデオの再生を制御します。



 ビデオの再生を全画面表示に拡大する

 巻き戻し、x2、x4、x8、x16

 スロープレー、1/2、1/4、1/8、1/16 スピード

 再生

 一時停止

 フレームごとに再生します。クリックしてビデオのフレームを再生する

 停止

 早送り、x2、x4、x8 および x16

 デジタルズーム：クリックしてズームインし、再生中にカメラ画像をクリックしてドラッグして、選択した領域を拡大します。右クリックすると、通常の再生に戻ります。

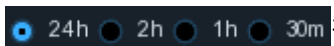
 ビデオクリップ。ビデオの一部を USB フラッシュドライブにすばやく保存します。
6.1.1.1 ビデオクリップのバックアップの詳細を見る

 ビデオクリップを保存します。

 音量調節：音量を上げるか減らすには、スライダバーをスクロールします。

 スナップショット：スナップショットイメージを USB フラッシュドライブにキャプチャします。ビデオの再生が分割画面表示の場合は、キャプチャするチャンネルにマウスカーソルを移動し、 アイコンをクリックしてスナップショットを保存します。

1. **タイムライン**：連続した録画は、さまざまな種類の録画(ディスプレイの右下隅に表示される凡例)を表す色付きのバーで表示されます。時間枠のオプション、

 を使用して小さい期間またはより大きな期間を表示します。

異なる色で表示される記録の異なるタイプ：

 Normal  Motion  IO  M and IO  Intelligent  PIR

グリーンカラーで連続録画；

黄色の色でモーション録画；

I/O は赤の色で録画します。

オレンジ色モーション&I/O 録画；

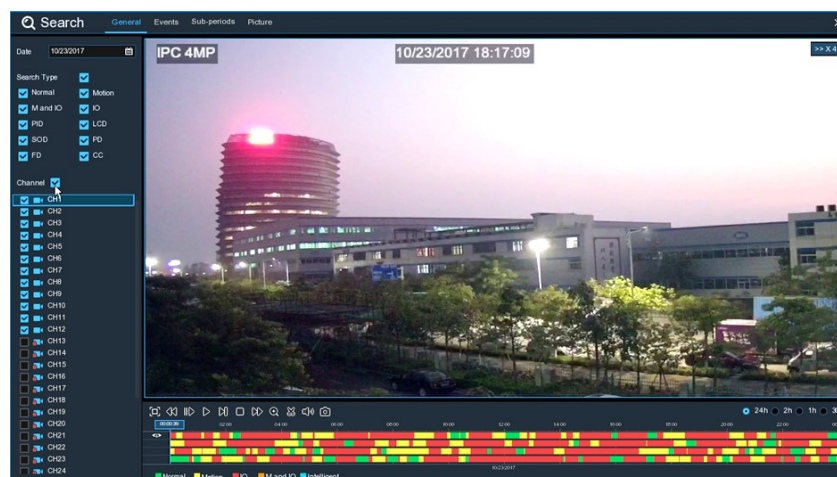
青色インテリジェント録画；

紫色の PIR 記録；

2. **再生ステータス**：ビデオ再生ステータスを表示します。

6.1 .1 一般的な検索とビデオの再生

このメニューでは、選択した日付の録画を検索して再生できます。



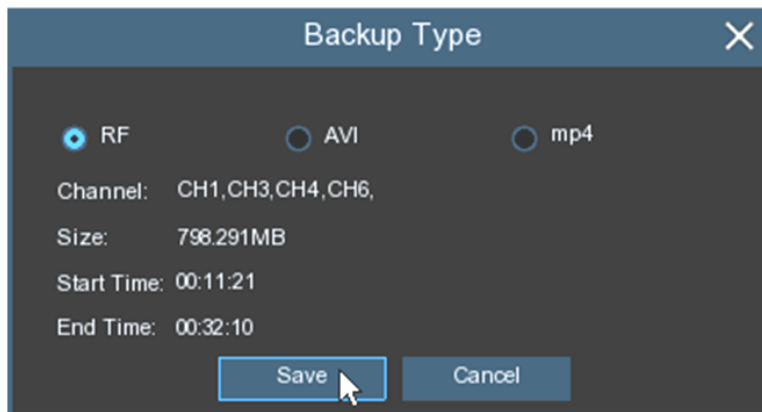
1. カレンダーからビデオ録画を検索する日付を選択します。
2. 検索の種類を選択します。
3. 検索したいチャンネルを確認するか、 **チャンネル** をチェックして、接続されているすべてのチャンネルを検索します。
4. 検索結果は、00:00 から 24:00 までタイムラインに表示されます。
5. ▶ ボタンをクリックすると再生が開始します。
6. ビデオ再生コントロールのボタン で再生を 制御します。
7. 時間枠のオプション(☒ 24h ☐ 2h ☐ 1h ☐ 30m)を使用して、より小さい期間またはより大きな期間を表示します。
8. USB フラッシュ ドライブに再生中にビデオのセクションをすばやく保存する場合は
✂ Video のクリップ、バックアップを使用します。

6.1.1.1 ビデオクリップのバックアップ

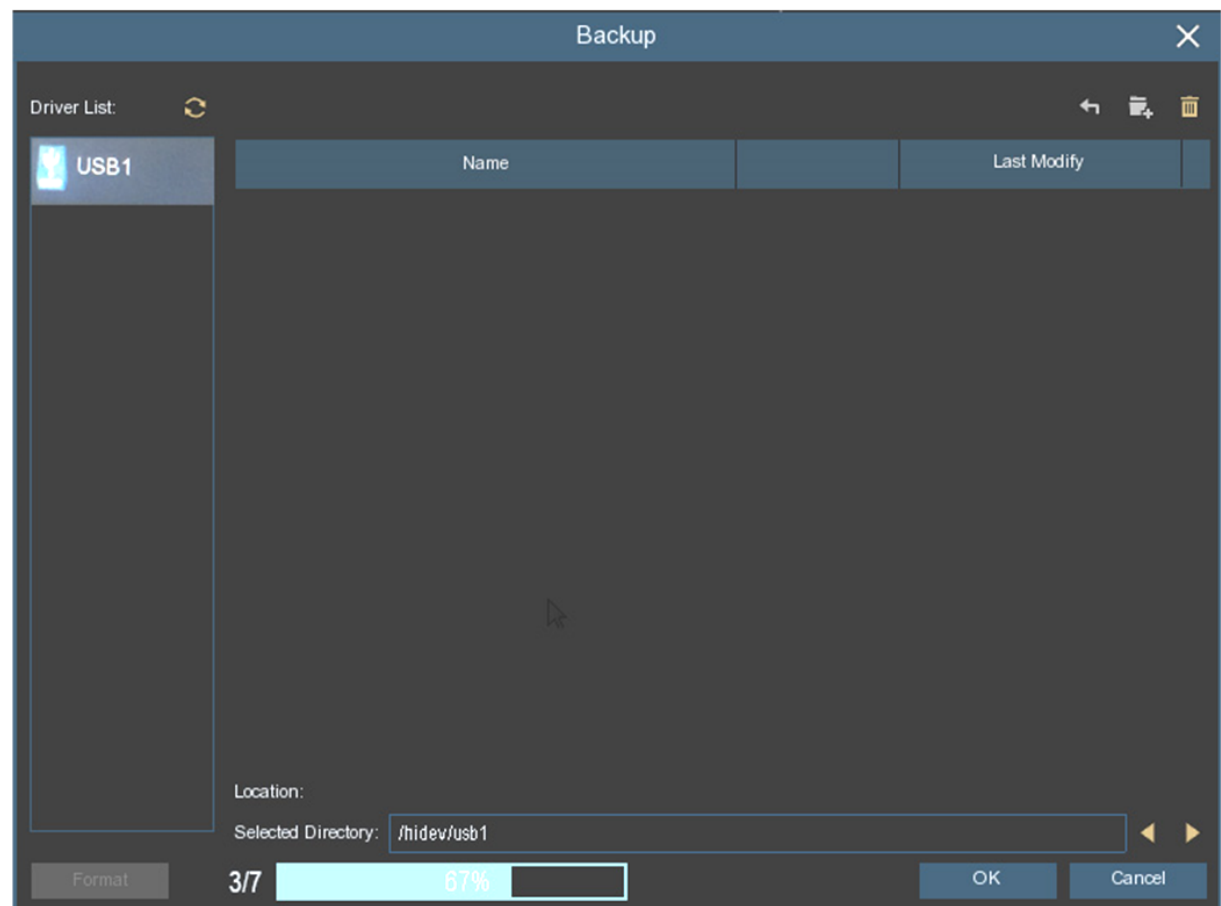


1. USB フラッシュ ドライブを DVR に挿入します。
2. ビデオ録画の再生を開始します。
3. ✂ アイコンをクリックします。
4. ビデオクリップのバックアップを作成するチャンネルを確認します。
5. ビデオクリップを開始するタイムラインにマウスカーソルを移動します。
6. マウスの左ボタンを押したまま、ビデオクリップを終了するタイムラインまでドラッグします。

1.  アイコンが  アイコンに変更され、 クリックしてビデオクリップを保存します。
2. バックアップ ファイルのファイルタイプを選択し、[保存]ボタンをクリックしてビデオクリップを保存します。USB ドライバにビデオクリップを保存するのに十分な容量があることを確認してください。



3. バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動します。
4. [OK] をクリックして開始します。ウィンドウの下部にある進行状況バーに、バックアップの進行状況が表示されます。



【製品に関するお問い合わせ先】

セルコ株式会社

E-mail : info@selco.ne.jp

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

セルコ株式会社

〒607-8326

京都市山科区川田御出町14番地3

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275